

Q 温泉地で災害に遭ったら…

防災を考えるイベント

伊香保温泉で初開催

高齢者や障害者、外国人観光客、ペット同伴者など災害弱者と呼ばれる人たちの防災について考えるイベント「要配慮者と考える 温泉防災EXPO in 伊香保」が今秋、渋川市伊香保体育館で開催された。温泉地を訪れる人たちに防災意識を高めてもらおうと、伊香保温泉観光協会や伊香保温泉旅館協同組合などをつくる「温泉防災EXPOコンソーシアム」(関口征治代表)が初めて企画。当日は県内外の企業による展示会を始め、防災をテーマにしたトークセッションや専門家による講演会など多彩な催しが行われた。

会場では温泉街の店舗や建設会社、大学、障害福祉事業所、支援団体など、全国から約60の企業や団体がブースを出展。防災教育をテーマにしたポスター展や東日本大震災時のパネル展、避難時に畳を届けるプロジェクト展など、各団体が日々、取り組んでいる防災対策を発表した。

また、タレントで防災士の時東あみさんや伊香保温泉女将

らのトークセッション、避難所を

テーマにしたセミナー、地震体

験車の乗車会、復興コンサート

なども実施され、子どもから高

齢者まで多くの人でにぎわった。

同コンソーシアムの栗原位之

事務局長は、「温泉地で災害に

遭った際、私たちはどう行動し

たら良いのか。様々なイベントを

通して、楽しみながら防災の知

識や気付きを得て欲しいと思い

企画しました。来年以降も継続

的に伊香保温泉で開催していけ

たら」と語った。(中島美江子)



タレントで防災士の時東あみさん＝写真中央＝らが登壇した防災イベント「温泉防災EXPO in 伊香保」＝渋川市伊香保体育館